



OMURA室内合奏団は青少年育成活動にも力を入れています。

今号はその中から2つの公演を特集いたします！

特集①

シーハット・ミュージック・フェスタ2014

OMURA・ミュージック・キャンプ



子どもたちの心に

一生の宝物を…

今年も、シーハット・ミュージック・フェスタの「OMURA・ミュージック・キャンプ」が8月13日～17日（15日は休み）の4日間行われます。

2009年から毎夏行われているOMURA室内合奏団の夏のフェスタですが、昨年よりジュニア・オーケストラを中心とした「ミュージック・キャンプ」にリニューアルし、弦楽合奏と室内楽を松原勝也先生のご指導のもとに、合奏団のメンバーも一緒に、3日間練習をし、4日目の最終日には、さくらホールでコンサートを開き、その成果を披露します。素晴らしい演奏会になることと思います。

今年は松原先生（指揮、ヴァイオリン演奏）に加えて、ゲスト講師としてヴィオラ奏者坂口弦太郎氏（NHK交響楽団ヴィオラ奏者）とチェロ奏者・中木健二氏（紀尾井シンフォニエッタ・メンバー、東京藝術大学准教授）をお迎えし、46名豪華な講師陣も揃ってのキャンプです。

ジュニアの応募者も、今年は過去最多の、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバスと全弦楽器が揃い、こんなに嬉しい

ことはありません。

このように素晴らしい先生方に指導して頂き、多くの仲間と心を一つにして音楽を作り上げていく4日間は子供達にも私たち団員にも「一生の宝物」となることでしょう。

演奏曲目は、弦楽合奏/ブリテン作曲「シンプルシンフォニー」、早川正昭作曲「バロック風日本の四季より——夏」、室内楽/ハイドン作曲「弦楽四重奏各品1-1」、モーツアルト作曲「弦楽四重奏K428」、ロッシーニ作曲「弦楽のためのソナタ」、それに特別プログラムとして講師陣と合奏団メンバーによる弦楽五重奏（バッハの作品）が加わります。

弦楽合奏、室内楽共に練習の見学は自由にできます。17日（日）15:00の開演のシーハット・さくらホールでの演奏会には是非聞きにいらしていただき、子供達の熱い演奏に耳を傾け、名曲の数々を心行くまで楽しんでいただけたいと思います。



光田聰子（チェロ）

平成17年、結成2年目に生の音楽の楽しさを子どもたちに伝えたい、

と始まったアウトリーチコンサート。

メンバーがホールを飛び出してアンサンブルで音楽を届けるスタイルで、

お陰様でたくさんの依頼を頂くまでになりました。

そんな私たちの次の夢は『ホール』に子どもたちを招いて、

本格的なオーケストラでの演奏を聴いてもらうこと。

9月2日(火) 大村市の主催で、その夢が叶います。



アウトリーチの様子

大村スクールコンサート『非日常の喜びを』

プロオケ業界には『音教』という言葉があります。小中学生を対象にした『音楽鑑賞教室』の略です。楽団が学校に出向いたり、逆にホールに来てもらったりします。

OMURA室内合奏団も9月2日に大村市内全小学五年生を対象にスクールコンサート、つまり『音教』を行うこととなりました。今まで少人数でしたが今回はフル編成です。『音教』ではお約束の指揮者体験もベートーヴェンの『運命』でやります！ジャジャジャジャーン♪

オーケストラの魅力に触れ、自分たちの街にプロオーケストラがあることを知り、耳馴染んだ曲を生演奏で感じてもらおう。これらの意味を込めてテーマは『僕と私のオーケストラ』。

テレビ、ネット、携帯、ゲームなどにより今の世の中退屈しません。しかしそれらがない時代の娯楽は音楽でした。300年前のクラシックが生き永らえてきたのには理由があるはずです。15分毎にCMが入らない世界、わざわざ静寂を作り出してから音を聞くという非日常の体験は機会を作らない限りなかなか出来ません。

授業がなくなり学校から飛び出すのですから楽しいのは当然です。では子どもたちに楽しい以上の何かを伝えられるか。何十年か後に「あ、あの時の曲だ」と思い出せるような記憶を残せるか。感受性豊かな彼らに少しでも感動や喜びを与えられるか。ホールで聴く音楽の素晴らしさを伝えられるか。合奏団の更なる挑戦が始まります。



第2回定期演奏会より～指揮者体験



長嶋拓生(ヴァイオラ)

芸術監督だより

赤い花の記憶～天主堂物語



(2014年3月 プレ公演「なるほどthe世界遺産」より)

教会の写真 ©濱本政春

大村市民ミュージカルを初めて観たのは、12年前、シーハットおおむら館長に就任する前のことです。その「Good-Bye スミタダ」に始まって、「Dream Comes True」「どあろ」「具足玉伝説」「OMURAグラフィティー」「光る海」と、大村の史実をもとに創られたミュージカルですが、ついに今回の大作「赤い花の記憶～天主堂物語」となりました。今までも、脚本は地元の人で書かれていますが、今回は長崎市在住の小川内清孝さんの作となります。「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」世界遺産登録支援と銘打っており、12月には南島原、天草での公演も予定されています。大浦天主堂建設に関わったプチジャン神父と大工の棟梁小山秀之進を軸に、信徒発見、浦上四番崩れ、26聖人、天草四郎、ローマへ行った4少年のエピソードなど盛り沢山。長崎色豊かなミュージカルに仕上がることでしょう。目下猛練習中です。OMURA室内合奏団有志による生演奏での本格的プロダクションにご期待ください。

芸術監督 村嶋 寿深子

新シリーズ

私とOMURA室内合奏団

vol.1

OMURA室内合奏団の中原大幾です。第1回コラムで日韓合同公演について書きたいと思います。当インスペクターを任されており、村嶋芸術監督から韓国公演は出来ないか?と相談をされました。私は3年半韓国大邱市の慶北大学校芸術大学音楽学科に留学をしていたので、長崎バタフライコンクールの審査員で同大学校の沈松鶴先生に村嶋監督とご相談して、2005年に韓国大邱市のニューフィルハーモニアオーケストラと日韓合同演奏会をしました。翌年には同オーケストラを日本にお迎えして大村、松浦合同公演をしました。リハーサルでは日韓で一つの音楽を創りあげている姿は中々見られない光景でした。大邱市は人口約250万人都市で韓国の東西南北の交通拠点です。人口は多い割に日本人はあまり見かけません。日本人の公演も全くないので大邱市民に

は貴重な演奏を聴かれたと思います。

また大村、松浦公演での韓国人の演奏も大変珍しい事だったと思います。大村公演後のエピソードですが、私が韓国人約40名を宿泊先のハウステンボスへ引率して、途中コンビニに立ち寄り日本食品の説明が大変でした。また遅い時間に沢山の韓国人が押し寄せて來たので店員さんの慌てぶりも面白かったです。

国際交流は色々な物の考え方や文化などに触れる事ができ、交流を通じて音楽を見つめていくと新しい発見も生まれ合奏団の音楽も幅広がっていくと感じています。



中原 大幾 (ヴァイオリン)

♪ 音楽と私

昔々あるところに、字へた、絵へた、歌も下手と三拍子揃つた少年がいました。

彼が中学生の時、習字、図工、音楽の中から一科目を選択せざるを得なくなり、悩んだ挙句に出した結論が音楽でした。高校入試でその音楽は百点（自己採点）だったと記憶しています。入試の音楽理論は数学と同じだし、この曲のタイトルはといえば、だいたいベートーヴェンの運命だと決まっているようなものでしたから…

その彼もやがて社会人となり、その頃ちょうど流行ったのが、例の8トラックでした。

裕次郎やフランク永井に魅せられ、時を忘れて歌にハイボールにうつつをぬかしたものでした。それでも昨今のカラオケ機器の性能には驚かされます。3度上げてオクターブ下げエコーを…ついていけません。

運命のいたずらか60歳定年で田舎に帰りと考えていた矢先、長崎航空（現ORC）を2~3年手伝って欲しいと誘われ、結果10年の長きになってしまいました。単身赴任の身、夜の栄養

はいつしか『おるびす』になってしまいました。おまけに主治医までマスターと同じ朝長先生となった次第です。そんな時、「四季の会」という飲んべえの会で村嶋館長との出会いがあり、室内合奏団のパトロンと相成ったわけです。正直最初は義務感で演奏会に行つたんですが、麻薬と一緒にで一回聴いただけで雷に打たれたみたいな体の激震を覚えています。

演奏会後『おるびす』での松原先生やプレーヤーの人達との交流でクラシックのいろんな知識も得て、次の演奏会が待ち遠しくなったのも音の力だと思います。

彼もいまは、ウクレレを習い4年目になり、年2回の発表会をフラダンスの人達と共に楽しんでいます。

「OMURA室内合奏団」プロの合奏団としての益々の発展を楽しみにしています。ブラボー！



パイロット時代の彼

松本豪司（元ORC専務）



修爾くんのイタリア便り (5)

皆様、お元気ですか？

そろそろ本格的に夏を迎えた頃でしょうか。こちらも日中耐え難い暑さになっております。troppo caldo! (暑すぎる！)

さて、今回はこちらに来てからマスターしたパスタ料理についてペンを走らせたいと思います。

こちらには、幾種ものパスタがありますが、僕が扱うことのできるのはスパゲッティのみとなっております。イタリア人の好みでしょうか、日本で食べるスパゲッティよりもほんの少し固めに仕上げます。そして絡めるソースにも本当にたくさん種類があるのですが、一番成功率の高いのはカルボナーラです。



ご支援ありがとうございます (6月25日) 法人会員数 65件 (-1件) NPOは、会員皆様の会費が主な収入源です。
現在 個人会員数 189人 (-9人) 周りの方で、興味のある方がいたら、ぜひお誘い下さい。

本経寺寒行団様より、OMURA室内合奏団に寸志を頂きました。

編集後記

今年もいよいよ始まりましたアウトリースクールコンサート
♪夏は暑い!冬は寒い!中での演奏も多く かなり体力を消耗
することも…しかししながら 予供たちの真っ直ぐな歌声や笑顔
に逆に私たちの方が元気をもらっています☆ (さあり)

先日の定期演奏会の際に沢山の方に背中を押して頂きました。1ヶ月前には予想もしていなかった大きな決断をしました。これからまたそれと共にしっかりじっくり!前に進んでいくように頑張ります(*^_^*) (いけっち)

最近改めて気付いたこと。シーハットの敷地内は一年中どこかで何かの花が咲いています。秋には大村で一番きれい(と思っている)紅葉も。ここに木や花を植えた方の想いを感じるこの頃です。 (みき)